

日に日に秋が深まり、冷たい雨が降る季節になりました。この秋は各地でさまざまなイベントが実施され、NPO のみなさんは大活躍だったことと思います。NPO 法人あきたパートナーシップも、中間支援組織として自主事業だけではなく、地縁組織や他団体とのコラボレーションも進めており、活動の場が広がっています。

特に、2011 年の東日本大震災当時から避難者の支援に大きく関わってきた経緯もあり、東日本大震災支援全国ネットワーク（以下 JCN と記載）主催の広域避難者支援ミーティングでは、当事者や支援団体への声かけ等、運営に関わっています。2 年前からは JCN の地域調整員を引き受け、北東北 3 県（青森・岩手・秋田）の支援情報の収集や支援団体の取組状況の把握を行っています。JCN の活動のために名古屋・宮城・福島・東京での会議に出向き、全国の避難者支援のネットワークづくりを進めています。

上北手小学校 2 年生 8 名が「町たんけん」の授業で遊学舎へ



初めて名刺をいただき、嬉しそうな子どもたち。大人のご挨拶を体験しました。



遊学舎活動サークル「糸遊び SAORI」さんの活動中におじゃまして、お話を聞きました。

11 月 5 日（木）、遊学舎に小さなお客様が訪れました。上北手小学校 2 年生の生活科の学習「町たんけん」という授業で、学校から施設までの道のりも 4 人のグループで歩きます。自分たちの住んでいる地域の人たちとふれあい、自分たちも地域の一員として意識しようという学習です。

4 人ずつ 2 班に分かれての見学となり、遊学舎内を歩き、サークル活動中のみなさんにもお話を聞きました。30 分ほどの滞在中に、遊学舎をご利用のお客様が小さな見学者を快く迎えてくださり「今日は会議のための印刷に来たんだよ」「楽しく織物を作っているのよ」など、優しくお答えくださいました。

その後子どもたちからは「どんな行事がありますか」「どんな仕事をしていますか」「働いている人は何人ですか」などたくさんの質問があり、答えるたびに一生懸命メモしている子どもたちの姿がとても印象的でした。そして次の訪問先に向けて元気に遊学舎を出発しました。

これまでに実施した事業

2015 遊学舎まつり
開催日時：9月26日（土）・27日（日）
10:00～16:00

遊学舎に集い、活動しているサークルのみなさんの1年間の成果発表の場である「遊学舎まつり」が2日間にわたり開催されました。今年は2サークルが新しく加わり、展示部門の内容の充実が図られました。全部で40サークルが2日間を楽しみながら盛り上げてくださいました。さらに「遊学舎サポートボランティア」のみなさんがポップコーンや綿あめの提供でご協力くださり、子ども達が行列をつくるなど大人気でした。昨年まで日曜日みの「遊学舎フリーマーケット」も、今年は土日の2日間にわたり開催したことで約4,300人の来館者でにぎわいました。

SAVEJAPANプロジェクト2015
『八郎湖の自然観察会
～昔の八郎湖に思いを馳せる～』
日時：10月25日（日）



新版「かだれ」VOL.10 p7に内容を掲載しています。

あきた若者会議チャレンジ作戦 ～県北地区・中央地区 大マッチング大会～

県北地区大マッチング大会



県中央地区大マッチング大会

平成27年度の事業として「秋田県地域の若者応援事業」を受託しました。この事業は、若者の地域での活躍の場を創出し、若者による地域の活性化を目的とする事業を実施しています。これまで県北・中央・県南各地区で実行委員会を3回ずつ実施しました。そして、各地区の実行委員の協力のもと、若者の参加を呼びかけ、10月3日（土）は大館市立中央公民館、10月24日（土）は遊学舎にて、『あきた若者会議チャレンジ作戦大マッチング大会』を開催しました。これは、「地域を元気にしたい若者」と「企業・NPO団体・地域団体・行政」が交流することで、地域への思いや課題を共有し、今後の活動につながるきっかけ作りを目指した大マッチング大会です。参加者からは「多くの人とつながりができた」「地域のことを知る機会になった」という感想が寄せられ、改めて若者が地域で活躍するための「交流や情報交換の場」の必要性を感じました。11月14日（土）は美郷町住民活動センターで県南地区の大マッチング大会を実施する予定です。